

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

1 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

(1) 入院診療患者数

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことによる退院患者の増加および新型コロナウイルス感染拡大による、クラスターが2回(8/18~8/29、2/27~3/23)発生し、入退院が制限されたため、入院診療の延べ患者数は、R3年度に比べて798人減(▲2.5%)の30,669人となり、1日平均患者数は2.4人減の83.8人となった。

	R5 (人)		R3 (人)		R5-R3 (人)		R5/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
東病棟	15,204	41.5	15,336	42.0	▲132	▲0.5	▲0.9%
西病棟	15,465	42.3	16,131	44.2	▲666	▲1.9	▲4.1%
計	30,669	83.8	31,467	86.2	▲798	▲2.4	▲2.5%

※ R5当初目標値：延べ患者数30,781人、1日平均患者数84.1人

※ R4は新型コロナウイルス感染拡大によるクラスターが発生したためR3と比較している。

(2) 外来診療患者数

今年度は、初診患者数は増加したが、再診については、地域のかかりつけ医への定期受診を希望される患者が多く、伸び悩んだため、外来診療の延べ患者数は、R3年度に比べて439人減(▲9.9%)の4,011人となり、1日平均患者数は1.9人減の16.5人となった。

	R5 (人)		R3 (人)		R5-R3 (人)		R5/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
外 来	4,011	16.5	4,450	18.4	▲439	▲1.9	▲9.9%
(うち初診)	(518)	(2.1)	(463)	(1.9)	(55)	(0.2)	(11.9%)

※ R5当初目標値：延べ患者数4,155人、1日平均患者数17.1人

※ R4は新型コロナウイルス感染拡大によるクラスターが発生したためR3と比較している。

(3) デイケア患者数

今年度のデイケアの延べ患者数は、R3年度に比べて236人増(6.4%)の3,923人となり、1日平均患者数は0.9人増の16.1人となった。

	R5 (人)		R3 (人)		R5-R3 (人)		R5/R3
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
デイケア	3,923	16.1	3,687	15.2	236	0.9	6.4%

- ※ R 5当初目標値：延べ患者数 3,767 人、1 日平均患者数 15.5 人
- ※ R 4は新型コロナウイルス感染拡大によるクラスターが発生したためR 3と比較している。

(4) 電子カルテシステムの運用

令和2年3月16日から電子カルテシステムを本稼働させて以降、業務の効率化が図られ、病院経営の向上に大きく貢献している。

今年度は、病院を標的としたサイバー攻撃に備えるため、システム業者とセキュリティ対策の確認を行うとともに、実際の攻撃を想定した図上訓練の検討やサイバーリスク保険に加入した。

2 福井県立すこやかシルバー病院における施設および設備の維持管理に関する業務

施設、設備および備品を良好に維持するため、日常点検および法定の環境測定等の保守管理業務を実施した。

また、老朽化した設備の更新や療養環境の改善を図るため、次のとおり整備を行った。

(1) 県執行分

内 容	備 考
浴槽濾過設備	開院以来使用による経年劣化
病棟監視モニタ	故障時修理不能
屋上防水等修繕	開院以来使用による経年劣化
ガンマカメラ装置の更新	故障時修理不能
低床電動ベッドの設置	毎年度5台更新

(2) センター執行分

内 容	備 考
自動血球計数装置	故障時修理不能
サーバイメーター	〃
第1診察室エアコン更新	故障のため
検査室冷凍庫	故障のため

3 事業の企画および実施に関する業務

(1) 介護教育事業

認知症高齢者に関する県内の中核医療機関として、医療、保健、福祉に係る水準の向上を図るため、認知症に関する介護教育研修を実施した。

ア 認知症高齢者に係る介護教育および研修に関する業務

(ア) 全県応募型研修（一般コース）

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/7	脳を活性化させよう	16人
2	4/13	認知症に関する制度と専門病院受診方法	15人
3	4/14	認知症の基礎知識と対応のポイント	16人
4	4/20	認知症の基礎知識(医師の講義)	13人
5	4/21	脳を活性化させよう	4人
6	4/27	認知症を予防するための基礎知識～栄養面から～	14人
7	4/28	認知症の方とのコミュニケーション	11人
8	5/2	脳を活性化させよう	5人
9	5/11	認知症の方の症状悪化の原因を考える	11人
10	5/18	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	10人
11	5/30	脳を活性化させよう	10人
12	6/2	認知症高齢者の食事援助	6人
13	6/6	高齢者の口腔ケア	5人
14	6/9	脳を活性化させよう	4人
15	6/16	認知症の方とのコミュニケーション	6人
16	6/20	認知症高齢者へのアプローチ(関わり)	6人
17	6/23	脳を活性化させよう	6人
18	7/4	認知症高齢者へのアプローチ(関わり)	24人
19	7/11	認知症高齢者の排泄援助	21人
20	7/14	脳を活性化させよう	11人
21	7/20	認知症の基礎知識と対応のポイント	10人
22	7/21	認知症の方のBPSDを理解する	15人
23	7/28	認知症の基礎知識と対応のポイント	7人
24	8/4	脳を活性化させよう	12人
25	8/10	介護によるストレスを軽減するために	7人
26	8/22	レビー小体型認知症の方の介護	6人
27	8/25	認知症の基礎知識と対応のポイント	6人
28	8/29	脳を活性化させよう	8人
29	9/8	認知症の方とのコミュニケーション	8人
30	9/14	認知症の基礎知識(医師の講義)	12人
31	9/15	認知症の基礎知識と対応のポイント	5人
32	9/22	脳を活性化させよう	5人
33	10/3	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	13人
34	10/5	認知症に関する制度と専門病院受診方法	12人
35	10/6	脳を活性化させよう	7人
36	10/12	認知症の方への食事提供～管理栄養士の視点から～	3人
37	10/17	認知症の基礎知識と対応のポイント	12人
38	10/20	認知症高齢者の食事援助	7人
39	10/27	脳を活性化させよう	9人
40	10/31	高齢者の口腔ケア	2人
41	11/2	認知症の方のBPSDを理解する	5人
42	11/7	認知症高齢者へのアプローチ(関わり)	10人
43	11/14	レビー小体型認知症の方の介護	3人
44	11/17	脳を活性化させよう	5人
45	11/21	高齢者の口腔ケア	6人
46	11/24	認知症の基礎知識と対応のポイント	6人

47	11/28	認知症高齢者の排泄援助	6人
48	12/1	認知症の方とのコミュニケーション	11人
49	12/5	認知症高齢者へのアプローチ（関わり）	13人
50	12/7	認知症の方の症状悪化の原因を考える	6人
51	12/8	認知症の基礎知識と対応のポイント	5人
52	12/15	認知症の進行段階別症状と対応	9人
53	12/19	脳を活性化させよう	8人
54	3/1	脳を活性化させよう	15人
55	3/19	認知症の基礎知識と対応のポイント	17人
56	3/21	認知症を予防するための基礎知識～栄養面から～	10人
57	3/26	高齢者の口腔ケア	5人
58	3/29	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	4人
計			524人

(イ) 専門職教育研修（施設職員コース）

認知症高齢者に関する専門的知識、技術の普及・啓発を進めるため、老人福祉施設や介護保険施設職員等の専門職を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/12	「イライラとうまく付き合う介護職になる」	25人
	10/18		26人
2	4/17	「認知症高齢者の転倒予防」	24人
	11/10		29人
3	5/10	「介護レクリエーションで広がる笑顔の輪」	37人
	10/11		24人
4	5/16	「バリデーションの基本」	46人
	11/30		31人
5	5/24	「認知症高齢者の終末期ケア」	46人
	11/22		25人
6	6/5	「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援」	41人
	10/16		12人
7	6/15	「認知症者に対する脳活性化リハビリテーション」	41人
	11/13		26人
8	6/21	「怒りのある方への対応」	42人
	9/20		44人
	12/4		36人
	3/18		26人
9	7/5	「懐かしい記憶から引き出す生きがい」	38人
10	7/6	「食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅰ」	38人
11	7/7	「食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅱ」	38人
12	7/19	「レビー小体型認知症の人の支援」	42人
13	7/24	「イライラとうまく付き合う介護職になる」	44人
14	7/27	「実践で活かすパーソン・センタード・ケア」	39人
	10/25		16人
15	8/7	「高齢者のレクリエーション」	33人
16	8/9	「認知症高齢者の終末期ケア」	46人
17	8/21	「言語聴覚士の視点で診る認知症高齢者のコミュニケーション障害の原因と対応」	31人
18	8/26	「優しさを伝えるケア技術ユマニチュード®」	34人

	8/27		22人
19	8/28	「認知症を生きる人との心の対話」	36人
20	8/31 9/1	「アドバンスケア・プランニング～認知症高齢者と家族の意思決定～」	27人 20人
21	8/23	「高齢者の食事援助」	38人
22	9/7	「介護職員のメンタルヘルス～バーンアウトを知る～」	40人
23	9/11	「身体拘束廃止の課題と実践」	39人
24	9/12	「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止」	42人
25	10/4	「認知症の理解とせん妄、BPSDの予防」	18人
26	10/10 10/24	「認知症高齢者に接する時の倫理の基本」	37人 32人
27	10/13	「言語聴覚士の視点で診る認知症高齢者のコミュニケーション障害の原因と対応」	13人
28	10/23 10/24	「認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応」	20人 26人
29	11/16	「食べる機能の低下と取り戻す訓練」	45人
30	11/17	「看取り期における食支援～本人の希望を尊重した「お食い締め」のあり方～」	44人
31	12/22	「認知症高齢者が安心できる環境づくり（講義）」	19人
32	12/23	「認知症高齢者が安心できる環境づくり（演習）」	7人
33	3/4	「認知症高齢者の残存機能を活かしたBPSDへの対応」	16人
34	3/14 3/15	「対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応～フードスタディーで食形態を確認し介助のコツをつかもう～」	38人 31人
35	3/28	「穏やかで自然な最期を看取るケア～高齢者施設を中心に～」	18人
36	3/28	「在宅で自然な最期を看取るケア～在宅・居宅を中心に～」	18人
計			1,626人

(ウ) 専門職向け配信研修

医療機関・福祉施設等の職員を対象として、専門職研修の講義の内容を動画で配信した。

	研修内容	申込施設数	視聴申込者数
1	せん妄の理解とケア	15施設	24人
2	高齢者のうつ症状とケア	11施設	20人
3	眠れない方へのケア	13施設	22人
4	不安のある方への対応	13施設	22人
5	精神病症状への対応	12施設	25人
6	認知症の方のBPSDを理解する	13施設	23人
7	認知症タイプ別食事の特徴と対応	24施設	44人
8	認知症の人を介護する家族の支援	5施設	9人
計		106施設	189人

(エ) 民生委員研修

県内の民生委員を対象に、認知症の基礎知識、認知症の方への対応、介護者に対する相談窓口や病院案内等の研修を実施した。

	研修日	会場	参加者	講師
1	9/20	大野市富田公民館	20人	作業療法士

2	11/1	すこやかシルバー病院	30人	看護師・精神保健福祉士
3	2/1	まつや千千	25人	作業療法士
4	2/3	高椋コミュニティセンター	51人	看護師
合 計			126人	

(オ) 学生研修

学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床に係る生活援助の在り方の研修を実施した。

	研修期間	学校名	延人数
1	6/28	福井県立大学社会福祉学部	5人
2	7/26～27	福井県立大学看護学部	12人
3	8/21～9/15	仁愛大学人間生活学部健康栄養学科	30人
4	8/23～24	福井医療大学（インターンシップ）	3人
5	2/27～3/27	仁愛大学人間生活学部健康栄養学科	30人
計			80人

(カ) 研修等受入

	研修期間	施設名等	内容	延人数
1	7/18	ケアマネジャー等	病院見学会	21人
2	9/28	ケアマネジャー等	病院見学会	20人
3	11/20	ケアマネジャー等	病院見学会	11人
合 計				52人

(キ) 家族介護研修

a 入院患者家族研修

(a) 外出・外泊時研修

外出・外泊時において、個々に応じたケアの留意点を知ること、家族が入院患者に適切なケアが行え、介護負担が軽減できるよう研修を実施した。

※ 参加者数：(外出時) 150件、(外泊時) 0件

(b) リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るため、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,758人

b 外来患者家族研修（外来初診時研修）

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的に研修を実施した。

※ 参加者数：457人

c デイケア患者家族研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,196人

イ 認知症およびその予防に関する知識の普及および啓発に関する業務

(ア) 講演会

(日時) 令和5年11月18日(土)

(場所) 福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)多目的ホール

(講師) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 所長 櫻井 隆氏

(内容) 「認知症と共に生きる ～認知症の進行に合った治療・ケア～」

(参加者) 92人

(イ) 講師派遣

認知症およびその予防に係る知識の普及・啓発を図るため、他機関からの依頼に応じ、院外に講師を派遣し、研修を実施した。

研修日	研修事業名	会場	参加者	講師	
1	5/9	あわら市社会福祉課認知症研修	あわら市中央公民館	14人	作業療法士
2	5/29	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	10人	看護師
3	6/1	鯖江市社会福祉協議会いきいきサポーター養成講座	神明公民館	17人	看護師
4	6/28	福井県社会福祉協議会介護職員介護技術向上研修	福井県社会福祉センター	30人	看護師
5	7/6	あわら市老人クラブ連合会老人家庭相談員研修会	JA福井県あわら会館	38人	看護師
6	7/10	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	10人	看護師
7	7/21	福井県立大学看護福祉学部老年看護学特別講義	福井県立大学	56人	看護師
8	8/3	若狭認知症リンカーン樹の輪認知症研修会	ナビアス	6人	看護師
9	8/15	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	10人	看護師
10	8/29	坂井市丸岡地域包括支援センター認知症研修会	高椋コミュニティセンター	43人	介護福祉士
11	9/11	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	78人	看護師
12	9/14	若狭認知症リンカーン樹の輪認知症研修会	リブラ	8人	看護師
13	9/20	大野市東部民生委員児童委員協議会介護教育に関する研修会	大野市富田公民館	20人	作業療法士
14	9/22	坂井地域包括支援センター(ケース相談)	坂井市社会福祉協議会	3人	看護師
15	9/22	坂井市丸岡地域包括支援センター(ケース相談)	高椋コミュニティセンター	3人	看護師
16	9/25	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	78人	看護師
17	9/29	福井県健康管理協会認知症研修会	ふくい健康の森温泉	15人	看護師
18	10/2	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	78人	看護師
19	10/12	鯖江市社会福祉協議会いきいき講座	鯖江神明公民館	30人	作業療法士
20	10/20	越前町包括支援センター認知症ジャパンメイト交流会	織田コミュニティセンター	10人	精神保健福祉士
21	10/22	坂井市役所高齢福祉課見守り声掛け模擬訓練	三国コミュニティセンター	50人	看護師
22	10/23	福井県看護協会 出前講座	田中病院	30人	看護師
23	10/25	越前町地域包括支援センター(ケース相談)	越前町役場1階	2人	看護師
24	11/11	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	47人	看護師
25	11/14	坂井市丸岡地域包括支援センター(ケース相談)	坂井市丸岡地域包括支援センター	2人	看護師
26	11/18	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	ドリーム訪問看護ステーション	4人	看護師
27	11/25	越前町社会福祉協議会介護おはなし会	織田コミュニティセンター	15人	作業療法士
28	11/29	福井県社会福祉協議会介護職員介護技術向上研修	福井県社会福祉センター	14人	看護師
29	12/1	坂井市丸岡地域包括支援センター家族介護教室	高椋コミュニティセンター	10人	管理栄養士
30	12/5	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	光道園第二光が丘ハウス	8人	看護師
31	12/7	敦賀市介護サービス事業者連絡協議会研修会	敦賀市福祉総合センター	67人	看護師
32	12/10	地域包括支援センター丹南きらめき家族介護者交流事業	県民生協丹南きらめき	20人	作業療法士
33	12/13	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	五岳園	19人	看護師

34	12/21	福井社包括支援センター自立支援研究会	社包括支援センター	10人	作業療法士
35	1/28	あわら市社会福祉協議会あわらふくし塾	あわら市湯のまち公民館	30人	看護師
36	2/24	織田コミュニティセンター認知症体験ワークショップ講座	越前町地域包括支援センター	25人	看護師
37	2/28	福井市役所福井市認知症カフェ連絡会	福井市地域包括支援センター	7人	看護師
38	2/29	福井県看護協会認知症対応力向上研修検討会	福井県看護協会	10人	看護師
39	3/13	ほたるの杜認知症研修会	安居福祉会ほたるの杜	13人	看護師
40	3/14	越前町役場（ケース相談）	越前町地域包括支援センター	5人	看護師
41	3/25	朝日区公民館在宅療養の出前講座	越前町地域包括支援センター	25人	作業療法士
42	3/27	特別養護老人ホーム美山貴寿苑認知症研修会	美山地区介護事業連絡会	13人	看護師
計				983人	

ウ 認知症高齢者に関する一般県民からの相談および指導に関する業務

受診相談、外来・介護相談 計548件

(2) 認知症カフェ実施事業

ア 通院者・地域住民対象

(ア) 計画

a 内容

通院患者の家族の方を対象に、家族の介護相談、待ち時間対策および患者の方の気分転換を図る。

b 日時、場所

(日時) 毎週月曜日：午前10時～12時、毎週水曜日：午後2時～4時

(場所) 当院待合ホール

(イ) 実績

新型コロナウイルスの感染拡大により、計画の具体化まで至らず、実施できなかった。

4 その他施設の管理運営に必要な業務

(1) 医師の確保

常勤精神科医師の3人体制、非常勤医師の宿日直体制を堅持するため、以下の医師確保対策を実施。

ア 県内の精神医学の発展に寄与

(ア) 福井大学精神医学教室の関連病院としての連携強化

a 精神医学研究への支援

当院を精神医学の研究施設として提供し、県内精神医学のレベルの向上とともに、当院の認知度や職員の質的向上を図った。

b 寄附金申込みの継続

学術研究の奨励を目的として、寄附金の申込みを継続して行った。

c ローテ医の指導・育成の充実

当該医学教室の研修プログラム連携施設として、当院の精神科指導医によるローテ医の指導・育成を実施した。

イ 宿日直勤務に関する待遇の改善

常勤・非常勤医師について、以下のとおり、宿日直勤務に関する待遇の改善を図った。

区 分		令和4年度	令和5年度
常勤	日直 (8:30~17:30)	3万円	4.5万円
	宿直 (17:30~8:30)	3万円	3.5万円
非常勤	日直 (8:30~17:30)	4万円	5.0万円
	宿直 (17:30~8:30)	4万円	5.0万円

(2) 患者への不適切行為の防止

患者中心のケアを推進し、患者への不適切行為を防止するため、行動制限最小化委員会での研修会の開催、看護部教育委員会での勉強会の開催、スタッフ間で注意し合える職場環境づくり、適切な業務配分の管理等を実施した。

(3) 5類移行後の新型コロナウイルス感染拡大への対応

令和5年5月8日から、新型コロナウイルスは感染症法上「5類」に引き下げられたが、重症化しやすい高齢者の患者を診療対象としている当院では、これまでの感染防止対策を緩和することなく、以下の内容を中心に継続した。

ア 職員全員の感染防止対策

職員全員はマスク着用を継続するとともに、同居家族の体調確認を行った。

イ 患者・家族のマスク着用の協力依頼

受診時や家族が来院する場合は、マスク着用協力の依頼を行った。

ウ 入院当日や疑似症患者等の抗原検査・PCR検査の実施

患者の入院当日や新型コロナウイルス感染疑似症の発生等において、病棟内に感染が拡大しないよう、抗原検査やPCR検査をタイムリーに実施した。

エ 職員・入院患者等の新型コロナウイルスワクチンの接種

令和5年度においても、国の接種スケジュールに基づき、接種を実施した。

オ 病棟内の換気対策

新型コロナウイルス感染の主な経路は空気感染であり、季節・天候に配慮しながら、換気対策を実施した。

カ 対面面会の制限（オンライン面会の継続）

患者の家族からの要望を受け、予約制による対面面会を再開した。またこれまでどおりオンライン面会も継続していく。

(4) 基本給の改定

福井地方最低賃金審議会は令和5年8月7日、令和5年度の最低賃金の引き上げ額を43円とし、時給888円から931円とするよう福井労働局長に答申し、令和5年10月1日から適用されることになった。

そこで、当センターの基本給については、931円を月額換算すると150,830円となったため、まず現在の1号給144,600円から150,830円に引き上げた。

次に、各号給の昇給額については、福井県経営者協会の令和5年度の賃金改定率を参考に、県内の優良企業94社の非製造業の賃上げ率3.22%（定期昇給分含む）をベースに給料表を作成した。

傾斜配分により特に号給が低い職員については昇給額を高く設定し、ある一定の号給以上の職員については、昇給額を低く設定した。

なお、令和6年度診療報酬改定では、医療従事者の人材確保や賃上げに向けた取組として、特例的な対応が行われることになり、今回の基本給改定による増加額相当の収入が見込まれる試算となっている。

(5) 評議員会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和5年4月1日 定款第22条による決議の省略	・理事の選任の承認
第2回	令和5年6月1日 定款第22条による決議の省略	・理事の選任の承認
第3回	令和5年6月13日 当院2階 講堂	・令和4年度事業報告および財務諸表の承認 ・令和5年度事業計画（案）および令和5年度正味財産増減予算書（案）の承認
第4回	令和5年6月19日 定款第22条による決議の省略	・理事の選任の承認

(6) 理事会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和5年4月1日 定款第37条による決議の省略	・代表理事（副理事長）の選任
第2回	令和5年5月23日 当院2階 講堂	・令和4年度事業報告および財務諸表の承認 ・令和5年度事業計画（変更案）の承認 ・役員賠償責任保険への加入について ・評議員会の決議の目的である事項等について ・評議員会の日時および場所ならびに決議の目的である事項等について
第3回	令和5年6月1日 定款第37条による決議の省略	・代表理事（理事長）の選任
第4回	令和6年3月19日 当院2階 会議室	・令和5年度正味財産増減予算書（決算見込）（案） ・令和6年度事業計画（案） ・令和6年度正味財産増減予算書（案）

5 福井県立すこやかシルバー病院指定管理者外部評価委員会による評価結果

(1) 日時・場所

令和5年12月25日(月) 当院2階 講堂

(2) 外部評価委員

(関連分野の専門家) 大森一郎氏、渡辺かづ代氏 (経営の専門家) 増田仁視氏
(利用者代表) 二宮かよ子氏

(3) 当センターの出席者

刀禰理事長、升谷院長、高嶋看護部長、谷口地域連携室長、山口事務部次長

(4) 評価結果

概ね良好

(5) 意見要望とその対応内容

意見要望 (外部評価委員会)	対応内容 (当センター)
<p>入院・外来ともに数および収益が減少しているため、入院患者の積極的な受け入れや、外来患者の増加につながるよう、地域のかかりつけ医やケアマネジャー等との連携に病院全体で取り組んでいただきたい。</p>	<p>目標患者数(入院90人/日、外来26.1人/日デイケア19.1人/日)達成に向けて、入院については看護部長の下、ベッド調整管理を徹底し、目標患者数を維持していく。</p> <p>外来については、初診は、通常の初診枠に加えて、再診枠の空きを見て、初診患者を診ていく。また再診は、かかりつけ医との2人主治医制による患者フォローと定期受診の必要性を伝えて、外来患者数増に取り組んでいくとともにかかりつけ医と連携していく。</p> <p>また引き続き、当院での見学会開催や地域連携室による介護施設等への訪問を実施し、ケアマネジャー等と情報交換を行っていく。</p>
<p>面会や外出・外泊についても検討していただき、家族会や認知症カフェなど本人・家族等のための機会ができるだけ確保されるよう工夫していただきたい。</p>	<p>面会については、実施時間等を含め検討していく。また外出・外泊については、個別に検討して実施している。</p> <p>家族会や認知症カフェについては、次年度開催開始に向けて、現在準備を進めている。</p>